



## 「千本ダム 築造工事」大正4年(1915年)～7年(1918年)

「貯水池は八束郡忌部村大字東忌部及西忌部地内に設け、堰堤は同村西忌部字三段田に築造す。左右連山相迫り忌部川、その間を貫き表面粘土質にして下部は概ね粗面の岩盤に属せり。堰堤基礎は水の浸透する恐れなしと認むる硬質岩盤に達する深部まで、側壁は、八歩法をもって岩石、砂礫を掘削し盤面はこれを切りならしコンクリートを充填せり」と記されている。

竣工時の規模として、堰堤の高さ47尺(14.24m)、頂幅7尺(2.12m)、敷幅34尺(10.30m)、長さ470尺(142.42m)と記されている。